

十三小学校研究推進便り

10月24日（金）、5限目 第5回の研究授業。

1年 「もっとしりたい やさいだいすき」 木村 葉子 学級

<研究授業参観に当たって>

5月から野菜を育てる活動に取り組んでから、継続的に野菜の学習をしてきた1年生。きゅうりが苦手だった子も、残さず全員が栽培したきゅうりを「おいしい」と言って食べたそうです。今回の単元では、野菜にもっと親しむことをねらって、カードゲームをしたり、野菜クイズを作ったりと楽しい活動がたくさんあります。研究授業では、日ごろ食べている野菜が「植物のどの部分にあたるのか」ということに着目した学習です。

<研究授業では、つぎの視点でみてください>

食育の観点から

- ① 実物の野菜を見ることで、興味をもって観察しているか。
- ② 野菜の特徴から、食べている部分がどこで育っているか理解できたか。
- ③ 仲間分けの仕方（土の中、土の上、高いところ）は適切か。
- ④ 栄養教諭がT.T.として、効果的な活躍ができたか。
- ⑤ 学習のまとめとして、ワークシートが活かされているか。

言語活動の観点から

- ① 班で話し合って、野菜がどこで育ったのかを考えているか。
- ② 野菜の特徴をとらえて発表しているか。（理由を挙げているか）
- ③ 分かったことや感想をワークシートに書くことができたか。

教室環境・視聴覚機器等

- ① 「野菜カード」が有効に活用されているか。

<木村先生のつぶやき>

1年生の子どもたちは、1学期になすときゅうりを育てる経験をしています。はじめは野菜が苦手なために給食に対して積極的になれなかった子どもたちも、苗がどんどん育ち、花が咲き始めるころには「早く食べてみたいな。」「どんな味がするのかな。」と、その収穫を楽しみにするようになりました。野菜の出来は予想以上で、収穫して試食することもできました。そのときの子どもたちの満足そうな笑顔は今も忘れることができません。

今回の取組は、自分たちで野菜を育てた経験をいかして、さらに野菜に親しむことをねらっています。3年生の理科の学習に関連した中身になっていますが、ここではあえて根や葉は「ねっこ」「はっぱ」という1年生に親しみやすい言葉で表現してみました。さて、子どもたちは、上手に“野菜のおうち”をみつけることができるでしょうか？